新潟大学　遺伝子倫理審査委員会　オプトアウト書式

①研究課題名	精神神経疾患の原因解明および診断法・治療法の開発に関する研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
本学および関連病院において，試料提供者の親族から同意を得て当教室員が行った病理解剖例です．このうち，臨床的に精神神経疾患，特に双極性障害と診断され，病理学的に既知の神経変性疾患などの器質性疾患が否定されたものを検索対象とします．対象期間：承認日から５年	
③概要	
精神神経疾患の多くは遺伝要因が関与すると考えられるにもかかわらず，まだ関連遺伝子は特定されておらず，根本的な治療方法もありません．特に双極性障害は，そう状態とうつ状態の気分変動に特徴づけられる精神疾患であり，人口の約 1%が生涯に罹患します．重篤なうつ状態による苦痛や自殺企図といった症状から解決すべき課題であるものの，原因は明らかになっていません．本研究では剖検された精神疾患症例の方を対象として，胚細胞性，体細胞性遺伝子研究を行うことでその病態解明と治療法の開発を目指します．	
④申請番号	G2020-0023
⑤研究の目的・意義	精神神経疾患およびその危険因子の一つであるミトコンドリア病や脳老化の原因を明らかにするとともに、現在の診断法・治療法を改善し新たな診断法及び治療法を開発することで，その病態解明と国民の健康に寄与します．
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2027 年３月３１日
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	精神神経疾患の病態解明のため，解剖時に保存された凍結新鮮脳組織を用いて病態に関係する遺伝子の発現や変化を調べます．このため，新潟大学病理学分野，脳科学リソース研究部門で保存されている対象の脳組織の一部を解析のために理化学研究所及び順天堂大学へ提供します． また、外部委託会社へ解析を委託する場合があります．
⑧利用または提供する情報の項目	精神神経疾患，特に双極性障害とミトコンドリア病の剖検脳の凍結新鮮脳組織
⑨利用する者の範囲	新潟大学および以下の共同研究機関等に遺伝子解析情報や臨床情報で利用いたします。 新潟大学脳研究所病理学分野　研究責任者：教授　柿田明美 順天堂大学医学部精神医学講座　研究責任者：教授　加藤忠史
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学医歯学総合病院　医療情報部　部長　赤澤宏平 新潟大学脳研究所病理学分野　研究責任者：教授　柿田明美 順天堂大学医学部　精神医学講座　研究責任者：教授　加藤忠史
⑪お問い合わせ先	新潟大学脳研究所病理学分野

	教授　柿田明美 TEL: 025-227-0673 e-mail: kakita@bri.niigata-u.ac.jp 順天堂大学医学部・精神医学講座 教授　加藤忠史 TEL: 03-5802-1070 e-mail: tadafumi.kato@juntendo.ac.jp